

内閣総理大臣賞作品



『揺蕩う』

秋田県 湯沢市立湯沢北中学校 三年

松田弓舞



今回、内閣総理大臣賞という輝かしく、名誉な賞を頂戴し、誠に光栄に思います。

この作品の題名になっている「揺蕩(たゆた)う」には、「心が動揺して定まらなくなる」という意味があります。私は今、思春期と反抗期、中学校生活最後と受験生、そして、美術に生きています。

どんな人でもいろんな一面をもって生きる中で、複雑な心境から感情的になってしまうときがあります。しかし、煩雑な環境でも感情に振り回されず、先を見て自分らしく生きることには価値を見いだすため、今を生きる自分を描きました。

このような賞を頂くことは、私一人の力では、到底成し遂げることができませんでした。共に切磋琢磨した仲間。どんな状況でも手厚くサポートしてくれる家族。そして、時に優しく、時に厳しくご指導してくださる先生。これからも私に関わってくださる全ての方々へ常に感謝を忘れず、美術に励んで参ります。

文部科学大臣賞作品



『かぞくでいったうみ』

広島県 熊野町立熊野第三小学校 二年

塚原飛鳥



心にのこっている思い出の絵をかきました。わたしは、夏休みに家ぞくで海に行ったことが一番心にのこっています。家ぞくみんなでおよいだり、パパに海になげてもらったりしたことがとても楽しかったです。

絵をかくときに、その時のことをよく思い出してかきました。パパはおひるね、ママはひなたぼっこ、わたしときょうだいは海でおよいでいたときをかきました。

そして、海が本物みたいに見えるように考えてかきました。海やすなはまの色をよく思い出してクレヨンや絵のぐでぬりました。なみもまっすぐではなくてフニャフニャにしたりなみしぶきを白いクレヨンでかいたりしました。家ぞくの体をかくときには、色がまざらないようにかくじゅんばんを考えてかきました。

この絵をかいている時、たくさんあそんだ楽しかった気持ちを思い出せてとても気持ちがよかったです。かきおわって絵を見ると、きれいだったのでかいてよかったなと思いました。

文部科学大臣賞作品



『停留する船』

北海道 石狩市立浜益中学校 二年

佐藤真以



この度は、文部科学大臣賞に選んでいただきありがとうございます。自分のふるさとを描いた絵が認められて、とてもうれしいです。

この作品は、浜益港に停留する漁船を描きました。漁船は、風や嵐に流されないために「もやい綱」でしっかり港につながれます。それは、まるで漁師のみなさんの安全操業に対する意識や家族への思いを象徴しているように感じます。漁船は、魚をとる道具ですが、背後には、魚を加工する施設が整っています。このように、港の情景は、港に暮らす人々の暮らしやつながりを感じさせてくれます。

今後も絵を描くことを通して、その風景の背景にある人々の思いや人々の暮らしに目を向けて、自分なりの発見や感動を表していきたいと思います。ありがとうございました。

広島県知事賞作品



『あのボールがほしい!』

南城市立大里北小学校 四年

城 間 縁 士



『妹が描く世界』

福岡市立板付中学校 三年

上 野 翠

広島県議会議長賞作品



『にぎやかな神社』

鹿児島市立向陽小学校 六年

川 畑 祐 奈



『私の頭の中』

船橋市立飯山満中学校 二年

木 下 凜 音

広島県教育委員会賞作品



『みんなでプール』

八重瀬町立具志頭小学校 一年

伊 福 正 道



『港のバックヤード』

石狩市立浜益中学校 三年

小 田 圭 織

NHK広島放送局長賞作品



『みんなで作ったキンメダイ料理』

山鹿市立八幡小学校 五年

時 尾 琉 聖



『キツネ・うどん』

川口市立里中学校 一年

阿 部 花 音

中国四川省内江市長賞作品



『 大好きな水遊び 』

アトリエひまわり 小学三年

町 田 聡 美



『 魚 』

いんほく子供絵手紙 中学三年

小 林 願 生

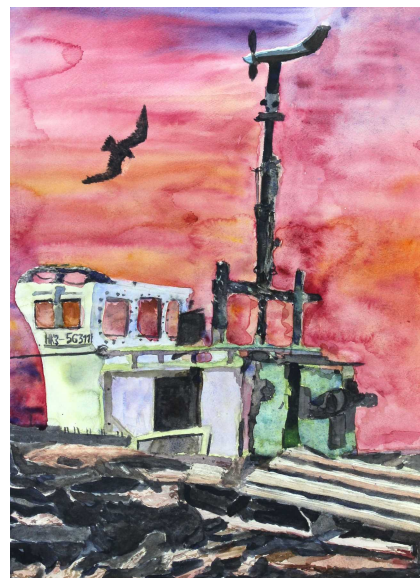
熊 野 町 長 賞 作 品



『 隠岐のローソク島 』

福山暁の星小学校 六年

吉 田 景



『 夕焼けの廃船 』

石狩市立厚田学園 二年

笹 谷 葵

熊野町議会議長賞作品



『 今日も3回ぐらいしかにじゅうとびできないかな。あ！11回できた！ 』

熊野町立熊野第四小学校 三年

馬場 惟 吹



『 教えてあげる 』

福岡市立板付中学校 二年

浅田 羽 菜

熊野町教育委員会賞作品



『 影と希望の世界。それを見守る女の人 』

福山暁の星小学校 五年

垣 采 優 里



『 「今」を感じる 』

松戸市立河原塚中学校 一年

今 村 七 海